

|       |     |                 |     |                 |       |             |
|-------|-----|-----------------|-----|-----------------|-------|-------------|
| 施策No. | 政策名 | 快適で潤いのある生活環境づくり | 主管課 | 生活環境課           | 主管課長名 | 生活環境課 郡司 純夫 |
| 402   | 施策名 | 防犯及び消費生活対策の推進   | 関係課 | 学校教育課、生涯学習課、企画課 |       |             |

1. 施策の目的と成果把握

| 目的                | 施策の対象                                   | 対象指標名  | 単位  | 区分   | 21年度   | 22年度   | 23年度   | 24年度   | 25年度   | 26年度   | 27年度   | 28年度   |        |
|-------------------|---|--|-----|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|                   | ・市民                                     | ①桜川市人口   |     | 人    | 見込値    |        |        | 45,122 | 44,571 | 44,020 | 43,190 | 42,571 | 41,952 |
| 実績値               |   |  |     |      | 46,575 | 45,673 | 45,105 | 44,449 | 43,826 | 43,190 | 42,444 | 42,000 |        |
| 見込値               |   |  |     |      |        |        |        |        |        |        |        |        |        |
| 実績値               |   |  |     |      |        |        |        |        |        |        |        |        |        |
| 的                 | 施策の意図                                   | 成果指標名  | 単位  | 区分   | 21年度   | 22年度   | 23年度   | 24年度   | 25年度   | 26年度   | 27年度   | 28年度   |        |
|                   | ・犯罪による被害から守る。<br>・犯罪被害や消費者被害にあわないようにする。 | ①市内の犯罪発生件数(1~12月)  | 件   | 目標値  |        |        | 675    | 650    | 625    | 600    | 575    | 550    |        |
| 実績値               |   |  |     | 605  | 658    | 495    | 346    | 350    | 342    | 371    | 348    |        |        |
| ②犯罪に不安を感じている市民の割合 |   | %  | 目標値 |      |        | 50.0   | 50.0   | 50.0   | 50.0   | 50.0   | 50.0   |        |        |
|                   |   |  | 実績値 | 58.7 | 59.9   | 53.9   | 54.7   | 55.0   | 54.6   | 52.2   | 52.2   |        |        |
| ③地域における自主的な防犯団体数  | 団体                                      | 目標値  |     |      | 13     | 15     | 17     | 19     | 21     | 23     |        |        |        |
|                   |   | 実績値  | 10  | 11   | 13     | 15     | 17     | 17     | 18     | 20     |        |        |        |
| ④消費生活センターへの相談回数   | 回                                       | 目標値  |     |      | 530    | 560    | 590    | 620    | 650    | 680    |        |        |        |
|                   |   | 実績値  | 267 | 430  | 500    | 516    | 485    | 520    | 541    | 418    |        |        |        |
| 成果指標設定の考え方        |   | ○『犯罪被害にあわないようにする』に対する成果指標は、③「地域における自主的な防犯団体」が増えていくことで、①「市内の犯罪発生件数」や、②「犯罪に不安を感じている市民の割合」が減ると思われる。<br>○現時点においては、『消費者被害にあわないようにする』に対する成果指標は、消費生活センターの充実によって、④「消費生活センターへの相談件数」が増えることとする。これにより消費者被害が未然に防止されることを成果とする。 |     |      |        |        |        |        |        |        |        |        |        |
| 成果指標の把握方法と算定式等    |   | ○対象の桜川市人口は毎年10月1日現在の常住人口<br>○市内の犯罪件数は警察署調べ<br>○「犯罪に不安を感じている市民の割合」は市民アンケート<br>○「自主防犯団体数」「消費生活センターへの相談件数」は生活環境課データ   |     |      |        |        |        |        |        |        |        |        |        |

2. 施策の役割分担と状況変化

|      |   |  |
|------|---|--|
| 役割分担 | 1)住民(事業所、地域、団体)の役割(住民や地域、行政と協働でやるべきこと)  | 2)行政の役割(市がやるべきこと、県がやるべきこと、国がやるべきこと)  |
|      | <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域における防犯組織の活動に理解を深め、積極的に参画し、防犯意識を高める。</li> <li>○不審者などの発見・監視を行い、特に児童の安全の確保に地域で取り組む。</li> <li>○正しい消費知識を習得し、消費上のトラブルに巻き込まれないようにする。</li> <li>○行政に対して犯罪や消費上のトラブルの情報を提供する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域における自主的な防犯活動等に対する支援を行う。</li> <li>○警察署や学校、地域の関係団体と連携し、地域における防犯・監視体制の強化を図るとともに、防犯意識の啓発に努める。</li> <li>○市民への情報提供及び広報活動(広報車・防災行政無線・チラシ等)に努める。</li> <li>○消費生活センターにおける相談対応を充実する。</li> <li>○空き家対策については、平成26年度空き家の実態調査を行なった。今後は、空き家対策の推進に関する特別措置法に基づき、適正な管理に努める。</li> </ul> |
| 状況変化 | 3)施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は今後どのように変化するか?  | 4)この施策に対して住民、議会からどんな意見や要望が寄せられているか?  |
|      | <ul style="list-style-type: none"> <li>○共稼ぎ世帯の増加により、地域で子どもを見守ることが必要となっている。</li> <li>○犯罪の種類が多様で高度化している。</li> <li>○家庭や地域が教育してきたことを学校が教育している。これまで自分たちでやってきたことを行政や教育機関に任せている。規範意識が低下している。</li> <li>○高齢者、高齢者世帯の増加</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○市民アンケートによれば、「犯罪被害にあうかもしれない不安を感じていますか」に対し、平成25年度は55%、26年度は54.6%、27年度、28年度は52.2%と半数以上の方が不安を感じているが、減少がみられているが、下記の要望は増えている。</li> <li>・市民から、屋外の防犯カメラ、防犯灯の設置要望が多い。</li> <li>・満足度・優先度とも比較的高い施策分野となっている。</li> <li>・市民から空き家に対する適正な管理が要望されている。</li> </ul>                      |

3. 基本事業の目的と指標

| 基本事業名         | 対象         | 意図              | 成果指標            | 区分  | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度  |
|---------------|------------|-----------------|-----------------|-----|------|------|------|------|------|------|-------|
| ① 防犯意識の向上     | 市民         | 防犯に対する意識を高める    | 犯罪発生件数          | 実績値 | 658  | 471  | 346  | 350  | 342  | 371  | 348   |
|               |            |                 |                 | 件   |      |      |      |      |      |      |       |
| ② 防犯体制及び施設の充実 | 市民<br>関係機関 | 犯罪が発生しにくい環境をつくる | 地域における自主的な防犯団体数 | 実績値 | 11   | 13   | 15   | 17   | 17   | 18   | 20    |
|               |            |                 |                 | 団体  |      |      |      |      |      |      |       |
| ③ 消費生活対策の推進   | 市民<br>関係機関 | 消費者被害にあわないようにする | 消費生活センターへの相談件数  | 実績値 | 194  | 200  | 212  | 210  | 236  | 212  | 174   |
|               |            |                 |                 | 件   |      |      |      |      |      |      |       |
|               |            |                 |                 | 実績値 |      |      |      |      |      |      |       |
|               |            |                 | 相談回数            |     | 430  | 500  | 516  | 485  | 520  | 541  | 418.0 |
|               |            |                 |                 | 回   |      |      |      |      |      |      |       |

4. 施策のコストの実績(施策を構成する事務事業シートより積算)

| 項目                 | 単位 | 26年度実績 | 27年度実績 | 28年度実績 |
|--------------------|----|--------|--------|--------|
| ①本施策を構成する事務事業の数    | 件  | 18     | 18     | 18     |
| ②施策事業費(一般財源以外)     | 千円 | 8,260  | 2,636  | 2,470  |
| ③施策事業費(一般財源)       | 千円 | 9,393  | 13,003 | 16,169 |
| ④施策事業費の計(②+③)      | 千円 | 17,653 | 15,639 | 18,639 |
| ⑤施策人件費(事務事業の人件費合計) | 千円 | 8,720  | 8,111  | 10,196 |
| ⑥計(④+⑤)            | 千円 | 26,373 | 23,750 | 28,835 |

5. 施策に関連する主要事業等

| 区分       | 事務事業名      | 摘要           |                   |
|----------|------------|--------------|-------------------|
| 関連する事務事業 | 桜川未来プロジェクト | 空き家活用検討事業    | 桜川未来プロジェクト事業      |
|          | 事務事業       | 防犯施設整備事業     | H27貢献度上位、H28優先度上位 |
|          | 事務事業       | 消費者行政事業      | H27貢献度上位          |
|          | 事務事業       | 自主防犯活動組織育成事業 | H28優先度上位          |

|      |     |     |               |     |       |
|------|-----|-----|---------------|-----|-------|
| 施策番号 | 402 | 施策名 | 防犯及び消費生活対策の推進 | 主管課 | 生活環境課 |
|------|-----|-----|---------------|-----|-------|

6. 施策の成果水準とその背景・要因

1)-①現状の成果水準と時系列比較(現状の水準は以前からみて成果は向上したのか、低下したのか、その要因は?)

|       |  |   |  |
|-------|--|---|--|
| 実績比較  | <input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した  | <input checked="" type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば向上した | <input type="checkbox"/> 成果がほとんど変わらない(横ばい状態) |
|       | <input type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば低下した   | <input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した                 |  |
| 背景・要因 | <p>・市内の犯罪発生件数は、平成25年度350件、26年342件と減少したものの、平成27年度は371件とあったが、平成28年度は348件と減少した。ひばりくんメール等により犯罪情報が受けられることにより、市民一人ひとりが犯罪対策できるようになったことが要因の一つであると考えられる。</p> <p>・犯罪に不安を感じている市民の割合については、25年度は55.0%、平成26年度は54.6%、平成27年度及び28年度は52.2%と年々減少している。要因としては自警団や防犯連絡員による防犯パトロール強化活動により市民に安全安心を与えていること、桜川警察署の検挙率が平成26年に比べると上がったことが要因と考えられる。</p> <p>・地域における自主的な防犯活動は、子供の登下校の安全を図るための自警団の結成により活発になってきており、21年度に4団体新規結成され10団体となり、平成22年度に1団体、23年度2団体、24年度2団体、25年度2団体、27年度1団体、平成28年度については2件新規結成され20団体となった。</p> <p>・消費生活センター相談件数は、25年度485回(内新規相談210件)、26年度520回(内新規相談236件)、27年度541回(内新規相談212件)、28年度については418件と減少した。要因としては啓発活動の強化と相談員の瞬時対応が考えられる。</p> |   |  |

1)-②成果目標の達成状況

|       |   |  |  |
|-------|---|--|--|
| 実績比較  | <input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った  | <input type="checkbox"/> 目標値のすべてが上回った                | <input type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を上回った  |
|       | <input type="checkbox"/> 目標値どおりの成果であった  | <input checked="" type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を下回った | <input type="checkbox"/> すべての成果指標で目標値を下回った |
| 背景・要因 | <p>・①市内の犯罪発生件数(1~12月)は、28年度の目標値520件に対し、実績値348件と少なく、目標値を大きく上回った。</p> <p>・②犯罪に不安を感じている市民の割合は、28年度の目標値50%に対し、実績値52.2%と2.2ポイント多く、目標値を下回ったが、年々目標値に近づいている。</p> <p>・③地域における自主的な防犯団体数は、目標値23団体に対し20団体と下回った。</p> <p>・④消費生活センターへの相談回数は、28年度の目標値680回に対し418回と262回目標値を下回った。消費生活センターの相談件数も目標値を下回っている要因としては、毎月「くらしのかわら版」を発行し、出前講座等の啓発活動を積極的に先行し事前防止と市民の消費者意識の向上に繋がったと考えられる。</p> <p>・目標値より犯罪の発生件数など大幅に減少しているが、犯罪に不安を感じている市民の割合は目標値に達していないが、これは全国的な犯罪の内容が高度化・複雑化していることなどが原因ではないかと思われる。</p> |  |  |

2)他団体との比較(近隣市町、県・国の平均と比べて成果水準は高いのか低いのか、その背景・要因は?)

|       |   |   |   |
|-------|---|---|---|
| 実績比較  | <input type="checkbox"/> 他の自治体よりかなり高い水準である  | <input type="checkbox"/> 他の自治体よりどちらかといえば高い水準である | <input type="checkbox"/> 他の自治体とほぼ同水準である |
|       | <input checked="" type="checkbox"/> 他の自治体よりどちらかといえば低い水準である  | <input type="checkbox"/> 他の自治体よりかなり低い水準である      |   |
| 背景・要因 | <p>・茨城県1000人当たりの犯罪率は、9.15、近隣市においては筑西市8.44、下妻市11.65、結城市8.8、桜川市は6.19と水準を下回っている。</p> <p>・近隣市の相談件数(新規)は筑西市376件、下妻市140件、結城市303件、桜川市174件で、県内市町村を見ても一割程度減っている。</p> |   |   |

3)住民の期待水準との比較(住民の期待よりも高い水準なのか、同程度なのか、低いのか)、その他の特徴は?

|       |  |   |   |
|-------|--|---|---|
| 実績比較  | <input type="checkbox"/> 市民の期待よりかなり高い水準である   | <input type="checkbox"/> 市民の期待よりどちらかといえば高い水準である | <input type="checkbox"/> 市民の期待とほぼ同水準である |
|       | <input checked="" type="checkbox"/> 市民の期待よりどちらかといえば低い水準である   | <input type="checkbox"/> 市民の期待よりかなり低い水準である      |   |
| 背景・特徴 | <p>・毎年、防犯ボランティア団体が結成されている。多くの団体は「子どもを守る」ということをメインに活動しており、防犯意識が高揚してきていると考えられる。</p> <p>・防犯カメラの設置は、犯罪抑止に効果があり住民の期待は高いと考えられるが、高額なため市内各駅3カ所の設置に留まっている。</p> <p>・消費生活センターについては、広報及び啓発活動を積極的に行うことで、市民の消費者意識レベルが上がったと考えられるが、その反面センターに来れば何でも相談、解決できる場であると思っ相談に来る市民もいる。</p> |   |   |

7. 総合計画後期基本計画(H24~28)の振り返り

| 区分   | これまでの取組成果   |
|------|---|
| 施策全体 | <p>・地域安全は、地域で子どもを見守ることなどの地域住民の防犯意識の高揚が必要であり、地域の防犯リーダーの育成や防犯組織の充実を図ったことにより、不安を感じている市民の割合は減ったと考えられる。</p> <p>・消費生活センターの相談内容も悪質かつ巧妙になってきているが、相談員の的確な対応により解決までに時間がかかる相談も即解決している。随時「くらしのかわら版」を発行し、出前講座等の啓発活動を積極的に行っていることで、事前防止と消費者意識の向上に繋がったと考えられる。</p> |
| 基本事業 | <p>①防犯意識の向上</p> <p>・自分の地域は自分たちで守るという防犯意識高揚の地域が増え、今年度は自主防犯ボランティア2団体が結成した。</p> <p>・地域安全は、地域住民の防犯意識の高揚が必要であることから、今のような犯罪が起こっているのかを知ることができる「ひばりくんメール」の登録を推進した。</p> <p>・防犯連絡員が防犯推進のための戸別訪問を実施。「犯罪7つの教え」のチラシを配布し市民に犯罪抑止の推進を図った。</p>                     |
|      | <p>②防犯体制及び施設の充実</p> <p>・LED防犯灯の現物支給を実施したことで、「明るくなった」「電気が安くなった」という意見をいただいた。また、地区要望の新規防犯灯もLEDで設置した。</p> <p>・防犯意識の高い地区については、自主防犯ボランティア団体の設立に協力を図った。</p> <p>・防犯団体及び防犯連絡員によるパトロールを定期的実施し、地域安全を確保したことで犯罪減少に繋がった。</p>                                    |
|      | <p>③消費生活対策の推進</p> <p>・消費生活センターでの相談体制の充実と正しい消費者知識の習得や消費生活に関するトラブルを防止するため「くらしのかわら版」に最新の詐欺手法や対処方法などの情報発信を常に行ったことで、市民が事前に情報を得ることができ犯罪に巻き込まれなかったことが相談件数減につながった。</p> <p>・キャンペーンや出前講座を実施し、被害に遭わないよう努めた。</p> <p>・小学生対象に夏休み親子マネー講座を開催し、消費者教育の場を設けた。</p>    |